

# 「肝炎ウイルス検査の結果」を確認しましょう

監修／国立成育医療研究センター

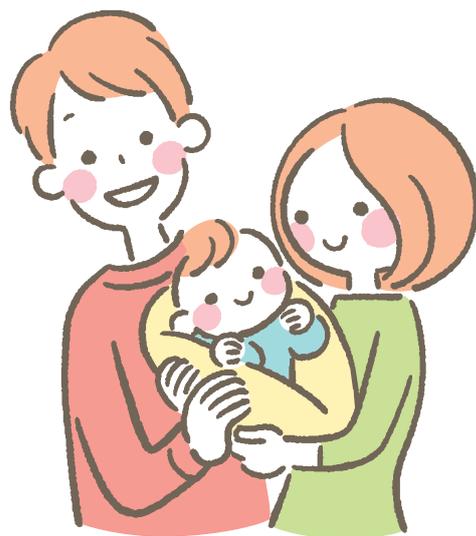
**B型肝炎・C型肝炎ウイルス**を知っていますか？  
実は、妊婦健診で「**肝炎ウイルス**」の検診を受けています。  
ママが肝炎ウイルスに感染しているかを確認し、  
赤ちゃんや家族への感染を防ぐため、必ず結果を確認しましょう。

もしも

**B型肝炎ウイルス検査で陽性**だったら…

精密検査

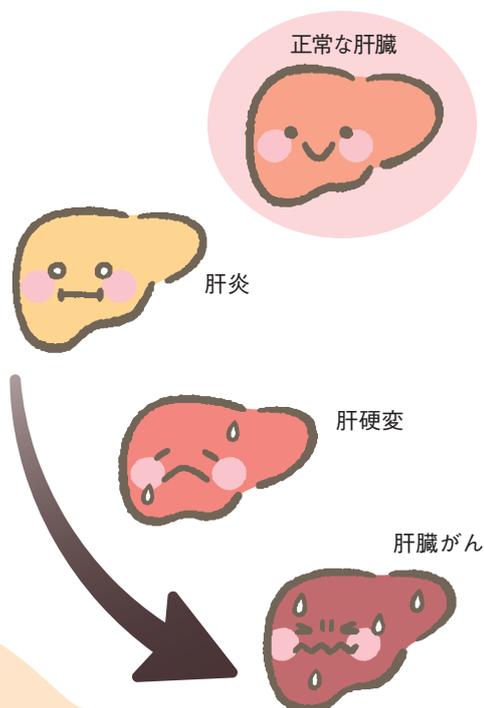
赤ちゃんは生後すぐに  
**薬（注射）とワクチン**で感染を予防。  
赤ちゃんを肝炎ウイルスから  
守ることができます。



**B型肝炎・C型肝炎ウイルス陽性なら……**

「肝炎ウイルス」は、感染すると**肝臓の炎症**を引き起こすウイルスで、A型からE型まであります。その中でB型とC型は慢性的な感染状態（キャリア）になることが知られています。B型、C型とも、血液を介してウイルスが体に入り、一定の割合で感染します。肝炎ウイルスに感染すると、自覚症状のないまま、しだいに**肝炎、肝硬変、肝臓がん**へと病態が進行していく可能性があります。

出産時にママから赤ちゃんに感染する、母子感染のリスクがありますから、必ず結果を確認しましょう。



# 妊婦健診の肝炎ウイルス検査について Q&A

**Q** 妊婦健診の肝炎ウイルス検査の結果は、どうやってわかるのですか？

**A** 母子健康手帳で、検査の記録をご確認ください。妊娠初期に行われる血液検査で、HBs抗原が陽性(+)であった場合は、B型肝炎ウイルスに感染、HCV抗体が陽性(+)であった場合は、C型肝炎ウイルスに感染しています。自分は大丈夫と以为ていても、検査を受けてみると、実は肝炎ウイルスに感染しているということもあります。ママ



が肝炎ウイルス陽性であれば、出産時に赤ちゃんに感染する母子感染のリスクがありますから、必ず受診し、精密検査を受けましょう。

**Q** ママがB型肝炎ウイルス陽性だったら？

**A** ママが感染していたら、出産後すぐに赤ちゃんに薬(注射)とワクチンをすれば、多くの場合、赤ちゃんの感染を防げます。かかりつけ医に相談し、必ず精密検査を受けましょう。



**Q** 肝炎ウイルス検査が陽性だった場合は、費用助成があるのですか？

**A** 初回精密検査や定期検査、肝炎の治療の費用助成を受けられる場合があります。お住まいの各都道府県や、肝疾患相談・支援センターへご相談ください。肝疾患相談・支援センターは各都道府県の肝疾患診療連携拠点病院に設置され、肝炎に係る相談や情報提供、支援を行っています。

**Q** パパやパートナー、同居の家族が肝炎ウイルス検査を受けるには？

**A** パパや同居者に感染予防が必要な場合や、感染している場合があります。心配なら、地域の保健所や委託された医療機関で肝炎ウイルス検査を受検することができます。40歳以上の方は市町村で受検できる場合がありますので、お住まいの地域の保健所や市町村にお問い合わせください。また、職場の健康診断の検査項目に肝炎ウイルス検査が入っている場合もありますので、確認しましょう。ほかにも、手術前に病院で肝炎ウイルス検査が行われています。



**Q** B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスは日常生活で感染しますか？

**A** 会話や食事、トイレ、お風呂などの日常生活では感染しません。肝炎ウイルスに感染する理由は、陽性者との性交渉や血液が付着したカミソリや歯ブラシの共有などです。血液がついたものを赤ちゃんに触らせないようにしましょう。



（肝炎ウイルスが陽性だった場合や、わからないこと、不安などがあれば、かかりつけ医や市町村・都道府県の窓口、肝疾患相談・支援センターへご相談ください。）



各都道府県の肝疾患相談・支援センターはこちらです。



厚生労働省のHPでもウイルス性肝炎に係る制度のご案内をしています。